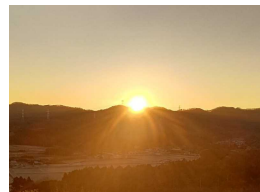




『大きな夢へ』

令和7年（2025年）の幕が開けました。昨年中は、保護者や地域の方々には本校の教育活動に際しまして、ご理解とご協力をいただき、大変ありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。今年「巳年」。蛇が生涯のうちに何度も脱皮を繰り返す様から「新たな自分に生まれ変わる」という意味があり、再スタートや変化のチャンスに恵まれる年とされています。将来に向かって成長していく生徒たち、そして、本校教育活動に関わる全ての皆さんにとって、気持ち新たな年となりますよう、ご祈念申し上げます。



さて、新年のこの時期、人は誰しも清らかな気持ちになるものです。初詣に行くとき、これから始まる1年を展望しながら手を合わせ、夢を思い描くこともあるでしょう。夢は目標であり、それが大きければ大きいほど、実現するためのエネルギーや努力も必要になります。また、「1年の計は元旦にあり」と言われます。きっと昨年も同様に描いたであろう夢の実現状況はいかがでしょうか。夢や目標を立てた以上は、実現の有無にかかわらず「どこまで到達できたのか」を振り返ることは意味があると思います。それは、目標に向けて努力してきた自分と向き合い、次のステップへの道しるべとなるからです。

【始業式の式辞】一部抜粋



今日から始まる3学期は、「まとめの学期」と言われます。と同時に、次の学年に向けた「準備の学期」でもあります。1年生は新入生が入って先輩となり、2年生は伝統ある山前中の最高学年に。そして、3年生は義務教育9年間のまさに「最終章」です。

さて、年末年始には、駅伝、サッカー、バレーボール、ラグビーなど多くのスポーツがTVで放映されていました。現地で応援した人もいられるかもしれませんね。勝敗や順位が明確になるスポーツですが、本番の試合はそれまでの練習量からすると僅かの時間であると言えます。メジャーリーグで活躍している大谷選手のホームランも、バットとボールが接する時間は一瞬ですね。どんな選手もその一瞬のために絶え間ない努力を続けています。もちろん、頑張ったから思い描いた通りの結果になるとは限りません。自分が目指す目標に到達しないと「失敗」と考える人もいるでしょう。しかし、成功に向けて必死になって取り組んだ経験は本物であり、何物にも代え難いものなのです。

世の中の失敗のほとんどは「止（や）めてしまうことにある」とも言われます。継続は力なりとか努力に勝る天才なしという言葉を目にしますが、とにかく「あきらめないこと、止めないこと」が大切なのです。

凍えるような寒い冬をじっと耐えた木々の芽は、春にはきれいな花を咲かせます。皆さん一人一人の素敵な花の色を楽しみに、式辞といたします。

★ご対応をお願いします。

「大寒」に入り、1年の中でも最も冷え込みが厳しい時節となりました。朝の登校の様子を見ていると、手袋をしないで自転車のハンドルを握り登校してくる生徒がいます。また、ウィンドブレーカー等の袖を伸ばして手をくるみ、ハンドル操作をする生徒も見かけます。当然、運転しにくいこと転倒した際には大きなケガに繋がることは予想できます。ぜひ、ご家庭でも手袋の着用について、お話いただければと思います。また、登校時は自家用車の運転手にとっても朝日が眩しい状況であり、道路の横断時には十分注意するよう指導しておりますので、合わせてお話くださいますようお願いいたします。

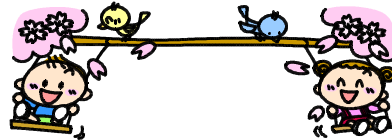
◇新入生説明会

1月14日に新入生説明会を行いました。本校に入学予定の新入生と保護者の方に中学校の様子を知ってもらうため、授業参観や部活動見学、学校生活のきまりや学習についての説明を行いました。中学校への夢と希望を胸に明るく元気に入學式を迎えられるよう、教職員も生徒も皆さんをお待ちしています。



◇保育実習

家庭科の授業で、自分たちのこれまでの成長と家族・地域についての学習内容があります。その中でも、幼児の心身の発達や関わりを実体験するため、地域の幼稚園への保育実習を行っています。事前に、手づくりおもちゃを製作し、当日は園児たちと一緒に遊びました。在園当時お世話になった先生もおられ懐かしい会話も弾んでいました。元気いっぱいの園児の様子から数年前の自分を思い出し、家族への感謝の気持ちを感じたことと思います。



◇PTA運営委員会

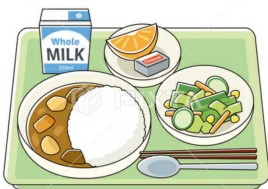
夕刻のお忙しい中、運営委員の皆様にご参集いただき、第4回PTA運営委員会を行いました。研修委員会、厚生委員会、広報委員会および各学年委員会の諸活動が滞りなく終了となる見込みです。今年度の振り返りと次年度の見通しを立て、3月14日のPTA合同委員会を経た後、PTA総会となる運びです。学校行事ばかりでなく、日頃の教育活動全般に対して、学校と保護者が「同じベクトルをもって子育てを推進する」という大きなミッションを成し遂げられますこと、心より感謝申し上げます。

◇学校給食週間

1889年山形県のある小学校で昼食が配られたことが始まりとされる学校給食。戦時中に一時中断されていましたが、アメリカの経済団体によって援助を受け、東京都内の小学校に給食物資が贈呈されたことに由来しているとのこと。その日（12月24日）を「給食感謝の日」と定めていましたが、その後、冬休みと重ならないように1月24日



から30日が「学校給食週間」と改訂されました。平成17年食育基本法の制定により、地域食材が多く活用されるようになり、郷土料理や旬の食材を使ったメニューが提供されています。風邪やインフルエンザが流行するこの時期、バランスのよい食事を心がけましょう。



左は、山前中学校ホームページのQRコードです。できる限り、各種行事や日頃の生徒たちの様子を掲載していきますので、ぜひ、ご覧ください。お子様のことでお困りのことやご相談、またはうれしいお知らせがございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。基本的に、教頭（箕輪）が窓口となって対応させていただきます。山前中学校は、保護者の皆様や地域の皆様とともに将来を担う人材の育成に努めてまいります。

